

専任教員教育研究業績

平成29年 4月26 日

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性 別
高地 誠子	こうち せいこ	保育学科 通信教育課程	講師	女
担 当 科 目 名			学 内 委 員 会 等 (委 員 長)	
・音楽表現ⅠA、音楽表現ⅠB、音楽表現Ⅱ、音楽表現Ⅲ (通信)				

学 歴

和暦 (西暦) 年 月	事 項	学位
昭和55 (1980) 年4月	武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科器楽専攻 (ピアノ) 入学	
昭和59 (1984) 年3月	武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科器楽専攻 (ピアノ) 卒業	芸術学士取得
昭和59 (1984) 年4月	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻 (ピアノ) 入学	
昭和61 (1986) 年3月	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻 (ピアノ) 修了	芸術学修士取得

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教 育 内 容 又 は 業 務 内 容
横須賀学院	昭和61年5月から 昭和62年3月	初等部音楽代行講師。
横須賀学院	昭和62年5月から 昭和63年3月	中等部、高等部音楽代行講師。
小野学園附属幼稚園	昭和63年4月から 平成元年7月	音感教育講師。
日本音楽高等学校	昭和63年10月から 平成元年7月	普通科、音楽科非常勤講師。
小田原女子短期大学	平成元年4月から 平成14年3月 平成14年4月から 平成23年3月 平成23年4月から 平成26年3月	幼児教育科非常勤講師 (器楽Ⅰ、Ⅱ担当)。 幼児教育科非常勤講師 (音楽Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ担当)。 保育科非常勤講師 (音楽表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ担当)。
小田原短期大学	平成26年4月から 平成27年3月  平成27年4月から 平成28年3月  平成28年4月から 平成29年3月	保育学科非常勤講師 (音楽表現Ⅱ、Ⅲ担当)。 ピアノ特別講師 (1年生ピアノ実技担当)。  保育学科特任講師 (音楽表現ⅠAⅠB (通信課程)、通学課程2年生特別ピアノ担当)。 通信課程の面接授業の他に、通信課程学生の為のピアノレッスンを8回行った。 通学課程特別ピアノの授業のとりまとめ役として12人の特別講師の配置、レッスン時間割作成、レッスン内容の作成を行った。 クラス副担任として、クラス運営、担当学生の指導に携わり、実習に関わる面接、保育園、幼稚園、施設の実習巡回指導を行った。  保育学科特任講師 (音楽表現ⅠAⅠB、Ⅱ、Ⅲ (通信課程) 担当) 通信課程の面接授業の他に、通信課程学生の為のピアノレッスンを行った。 通学課程の音楽表現Ⅰの授業を担当教員の代講として3回行った。また、クラス副担任として、クラス運営、担当学生の指導に携わり、実習に関わる面接、保育園、幼稚園の実習巡回指導を

		行った。
フェリス音楽教室(フェリス女学院大学内)	平成6年4月から 現在に至る	実技科講師(ピアノ実技、3歳児クラス、4、5歳クラスのピアノ導入レッスン、成人クラス担当。ソルフェージュクラス3歳、4歳クラスの伴奏ピアニストを担当)。 評議員、評議員会議長、書記、試験委員、発表会委員を歴任。
小田原短期大学乳幼児研究所附属幼児教室「おだたんくらぶ」	平成27年9月から 現在に至る	音楽担当として年間6回、2歳児の親子に音楽遊びや歌やリズムを指導している。
ピアノ教室主宰	昭和45年8月から 現在に至る	3歳児から大人までのピアノレッスンを行なっている。クラス・ルンツェ著「ふたつの手・12のキー」Aを使った幼児の為のピアノ導入教育を行い、1年半に一回の門下生による発表会も行っている。各種のオーディションやコンクール出場のためのレッスン、音楽大学受験のためのレッスンも行っている。

所属学会等

名称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
公益財団法人日本ピアノ教育連盟	平成26年5月から 現在	会員。平成26年(小学生1、2年生の部)、27年(小学生1、2年生の部)左記連盟主催ピアノオーディションに指導した生徒が入選。奨励賞受賞。また、28年(小学生3、4年生の部)には指導した生徒が入選。全国大会に選抜出場。 平成28年3月29日全国研究大会(上野学園大学)で口頭発表。 平成29年3月30日全国研究大会(東京藝術大学)で口頭発表。
一般社団法人日本保育学会	平成27年6月から現在	会員。
一般社団法人全国保育士養成協議会	平成27年6月から現在	会員。平成27年度、28年度全国保育士養成セミナー参加。

社会活動等

名称	活動期間	活動内容
社会福祉法人風祭の森太陽の門福祉医療センター(小田原市)	平成24年8月より 現在に至る	毎年、1回ボランティアで音楽会の企画や、ピアノ演奏、朗読を行っている。
重症児、者福祉医療施設ソレイユ川崎(川崎市)	平成25年12月	ボランティアでクリスマスコンサートを行なった。

担当教科目に関する資格・免許等

名称	取得年月	取得機関
中学校教諭1級普通免許(音楽)	昭和59年 3月31日	東京都教育委員会
高等学校教諭2級普通免許(音楽)	昭和59年 3月31日	東京都教育委員会
高等学校教諭1級普通免許(音楽)	昭和61年 3月31日	東京都教育委員会

研究実績に関する事項

代表的な著書、論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	概要

(著書) 1、おだたんくらぶ リーフレット (小田原短期大学 乳幼児研究所付 属幼児教室)	共著	2016年3月	小田原短期大学	平成27年度神奈川地方創生大学連携事業の一環でリーフレットを作成し、「音楽遊びの遊び方」p.5,p.13の執筆を担当した。
2、子どものための 音楽表現技術	共著	2017年3月 25日	萌文書林	小田原短期大学の音楽表現の授業で使用する教科書として制作。「保育現場で求められる楽器で表現する力」pp.86-97の執筆を担当した。
3、小田原短期大学 保育学科通信 教育課程印刷 (テキスト) 科 目 音楽表現 Ⅱ学習の手引 き2017年度版	共著	2017年4月 1日	小田原短期大学保育 学科通信教育課程	小田原短期大学保育学科の音楽表現Ⅱの授業で使用する教科書の手引きとして作成した。pp.27~34の執筆を担当した。
(著作) 1、おだたんくらぶ のうた	共著	2016年12 月	小田原短期大学乳幼 児研究所附属幼児教 室	平成27年度神奈川地方創生大学連携事業の一環で小田原短期大学乳幼児研究所附属幼児教室のうたの作詞を担当した。
(CD制作) 1. かわいい童謡 曲集 (CD)	共著	1989年	株) 共同音楽出版社	「かわいい童謡曲集」小田原女子短期大学幼児音楽研究会(共同音楽出版社)の録音で歌の伴奏をした。後にCD化された。
2、おだたんくらぶ のうた (CD)	共著	2016年12 月	小田原短期大学乳幼 児研究所附属幼児教 室	平成27年度神奈川地方創生大学連携事業の一環で「おだたんくらぶのうた」のCD制作、録音に参加した。
(学術論文) 1. 修士論文 ベートーヴェン のピアノソナタ で扱われたフー ガの研究(作品1 10を中心とし て)	単独	1986年3月	武蔵野音楽大学大学 院	従来のフーガ形式を厳密にソナタ形式に取り入れるのではなく、ベートーヴェンらしく和声進行のハーモニーを大切にしながらうまく取り入れている。和声進行とフーガ形式を合体させることで、宇宙感を表現しようとしたのではないかと推察した。
2. 研究ノート(査 読付き) 保育者養成校に おいてピアノ技 術を通して育ま れる内面的な成 長と求められる 指導者像	単独	2016年3月 31日	小田原短期大学研究 紀要46号pp.88~92	ピアノの授業を通して育まれることは技術の習得だけではない。練習や習得過程で自らと向き合うことによって保育士に必要な①計画性②創意工夫力③共感力④集中力⑤克己の力が培われる。そのため大切な指導者の指導のあり方について研究した。
3. 研究ノート(査 読付き) クラウス・ルンツ ェ「ふたつの手・	単独	2016年10 月31日	(公財)日本ピアノ 教育連盟 紀要 第 32号pp.55~66	クラウス・ルンツェ著「ふたつの手・12のキー」A巻を使った4~5歳児のためのピアノ導入教育の方法の研究。楽譜を読んで弾かせる前に、音に耳を傾けること、イメージしたことを音楽で表現するこ

<p>12のキー」A ちいさなピアニストのためのえほんーがくふなしでー (幼児の為のピアノ導入法としての教材研究)</p> <p>4. 研究ノート (査読付き) 幼児期における感性を育成する表現遊びに関する考察 (1) ~おだたんくらぶ幼児教室における小グループの音楽遊びの分析~</p> <p>5. 研究ノート (査読付き) アクティブラーニング学習効果尺度の作成の試み~音楽・造形・身体表現系と障害児保育演習授業に着目して~</p>	<p>共著</p> <p>共著</p>	<p>2017年3月31日</p> <p>2017年3月31日</p>	<p>小田原短期大学研究紀要 47号</p> <p>小田原短期大学研究紀要 47号</p>	<p>と、ピアノを弾く時の柔軟な腕や手指を造ることをまず行い、幼児の想像力や表現力を高めて、ピアノの魅力と基礎テクニックを伝えるこの教則本の特徴を7つ挙げて、考察した。</p> <p>小田原短期大学乳幼児研究所付属おだたんくらぶで行われた3回の2歳児親子の音楽遊びの様子を分析して、幼児の豊かな感性を育成するための発達にあった音楽遊びや環境を考察した。</p> <p>アクティブラーニングのための授業の工夫が表現系の科目で学生にどのように効果があったのかを測るために、学生にアンケートを取り、評価尺度を作成した。</p>
<p>(学会発表：口頭)</p> <p>1. クラウス・ルンツェ著「ふたつの手・12のキー」A ちいさなピアニストのためのえほん (がくふなしで) の教材研究と考察</p> <p>2. クラウス・ルンツェ著「ふたつの手・12のキー」A ちいさなピアニストのためのえほん (がくふなしで) 幼児の為のピアノ導入レッスン指導法の研究</p>	<p>単独</p> <p>単独</p>	<p>2016年3月29日</p> <p>2017年3月30日</p>	<p>(公財) 日本ピアノ教育連盟第32回全国研究大会 於：上野学園大学</p> <p>(公財) 日本ピアノ教育連盟第33回全国研究大会 於：東京藝術大学</p>	<p>幼児のピアノ導入レッスン時に演奏技術の獲得が主であるレッスン方法に警鐘を鳴らし、楽譜のないこの教材を使って演奏の為に必要とされる、1、イメージを表現しようとする気持ちを育む。2、それを表現するための基本的な演奏技術を獲得する。3、音を聴こうとする姿勢を育てる。この3つを遊びを通して教師とのコミュニケーションの中で行この教材についての研究発表をした。</p> <p>幼児のピアノ導入レッスン時に演奏技術の獲得が主であるレッスン方法に警鐘を鳴らし、楽譜のないこの教材を使って演奏の為に必要とされる、1、イメージを表現しようとする気持ちを育む。2、それを表現するための基本的な演奏技術を獲得する。3、音を聴こうとする姿勢を育てる。この3つを遊びを通して教師とのコミュニケーションの中で行この教材を使用した指導法について実践例のビデオを使用して研究発表をした。</p>

(その他) 1, 演奏会				
① フェリス音楽 教室講師による 第27回ジ ョイントリサ イタル	共同	2005年10 月8日	主催：フェリス音楽 教室	フェリスホール ブラームス作曲ハイドンの主題による変奏曲 Op. 56b(2台ピアノ)を演奏した。
② PIANO DUO CONCERT vol. IV (2台のピアノに よる)	共同	2006年4月 28日	主催：彩音会	ひまわりの郷ホール (横浜市港南区民センター) ブラームス作曲ハイドンの主題による変奏曲 Op. 56b(2台ピアノ)を演奏した。
③昼のミニコンサ ート	共同	2010年10 月27日	主催：小田原市	小田原市役所2階ロビー 芝辻鈴子氏の独唱の伴奏をした。
④CONCERT SIMFONIC EXTRADINAR	共同	2011年9月 30日	主催： Ateneul Roman	Ateneul Roman (ブカレスト) モーツァルト作曲ピアノ協奏曲 KV. 365 をルーマ ニア国立ジョルジュエネスコフィルハーモニー と共演した。
⑤CONCERT SIMFONIC EXTRADINAR	共同	2013年9月 29日	主催： Ateneul Roman	Ateneul Roman (ブカレスト) モーツァルト作曲ピアノ協奏曲 KV. 466 をルーマ ニア国立ジョルジュエネスコフィルハーモニー と共演した。
⑥第51回イーゲ ル会	共同	2014年9月 29日	主催： イーゲル会	イーゲルホール シューベルト作曲「楽興の時」Op. 94 より No. 1, 2, 3 を演奏した。
⑦第54回イーゲ ル会	共同	2015年6月 15日	主催： イーゲル会	イーゲルホール ショパン作曲「バラード4番」Op. 52 を演奏した。
⑧第55回イーゲ ル会	共同	2015年10 月5日	主催： イーゲル会	イーゲルホール シューベルト作曲「ファンタジー」D. 940 を演奏 した。
⑨はじめてのコン サート	共同	2017年2月 11日	主催： フェリス音楽教室	チャペル (フェリス女学院大学緑園校舎内) メン デルスゾーン作曲「バイオリンコンチェルト」 NO. 1 を共演した。

2、講演会 ①リクエストワークショップ「新しいピアノ導入法」	単独	2003年8月27日	主催：武蔵野音楽大学同窓会神奈川支部西湘むさしの会	新名学園旭丘高校音楽室 クラウス・ルンツェ著「ふたつの手. 12のキー」を使った指導法の実践報告。 受講生に生徒役になってもらい、公開レッスンをを行った。
②新しいピアノ導入法公開講座 part I	単独	2010年5月9日	主催：武蔵野音楽大学同窓会神奈川支部西湘むさしの会	新名学園旭丘高校音楽室 クラウス・ルンツェ著「ふたつの手. 12のキー」を使った指導法の実践報告。実際に子供たちを使って公開レッスンを行った。
③新しいピアノ導入法公開講座 part II	単独	2010年9月19日	主催：武蔵野音楽大学同窓会神奈川支部西湘むさしの会	新名学園旭丘高校音楽室 クラウス・ルンツェ著「ふたつの手. 12のキー」を使った指導法の実践報告。実際に子供たちを使って公開レッスンを行った。
3、特別授業 ①ピアノ指導法	単独	2015年5月12日、19日	主催：フェリス女学院大学音楽学部演奏コースピアノレッスン	フェリス女学院大学（山手校舎） ピアノ専攻の学生(小林周子担当クラス)を対象に、クラウス・ルンツェの教材を使った幼児期のピアノ導入レッスンについて2日間、講義と実践を行なった。
②ピアノ指導法	単独	2016年5月17日、24日	主催：フェリス女学院大学音楽学部演奏コースピアノレッスン	フェリス女学院大学（山手校舎） ピアノ専攻の学生(小林周子担当クラス)を対象に、クラウス・ルンツェの教材を使った幼児期のピアノ導入レッスンについて2日間、講義と実践を行なった。
③ピアノ指導法	単独	2017年4月18日、25日	主催：フェリス女学院大学音楽学部演奏コースピアノレッスン	フェリス女学院大学（山手校舎） ピアノ専攻の学生(小林周子担当クラス)を対象に、クラウス・ルンツェの教材を使った幼児期のピアノ導入レッスンについて2日間、講義と実践演習を行なった。
4、ピアノ発表会 ①ピアノ発表会	単独	2015年12月23日	主催：高地誠子	南足柄文化センター 主宰しているピアノ教室の発表会を行なった。第1部はソロ演奏発表、第2部はサン・サーンス作曲「動物の謝肉祭」をテーマにプロジェクターで絵本の絵を投影し、朗読に合わせてピアノ連弾を行なった。
②ピアノ発表会	単独	2016年7月日	主催：高地誠子	クレセントホール（小田原） ピアノ教室のピアノ発表会を行なった。第1部はソロ演奏発表、第2部は連弾演奏発表を行なった。

5、ピアノ指導 ①第31回 JPTA ピアノオーディション	単独	2014年11月16日	主催： 公益財団法人日本ピアノ教育連盟	横浜市磯子区民ホール杉田劇場 全国ピアノオーディション小学生1,2年の部で指導した生徒1名が奨励賞受賞。
②第31回かながわ音楽コンクール	単独	2015年3月26日	主催： 神奈川新聞社	小田原市民会館 小学校低学年の部で指導した生徒1名が入賞。
③第32回 JPTA ピアノオーディション	単独	2015年11月23日	主催： 公益財団法人日本ピアノ教育連盟	横浜市磯子区民ホール杉田劇場 全国ピアノオーディション小学生1,2年の部で指導した生徒1名が奨励賞受賞。
④第32回かながわ音楽コンクール	単独	2016年3月26日	主催： 神奈川新聞社	小田原市民会館 神奈川音楽コンクール小学生低学年の部で指導した生徒1名が入賞。準本選出場。
⑤第32回 JPTA ピアノオーディション	単独	2016年11月23日	主催： 公益財団法人日本ピアノ教育連盟	横浜市磯子区民ホール杉田劇場 全国ピアノオーディション小学生3,4年の部で指導した生徒1名が入賞。全国大会出場。
5、研修講師 ①ぼけっとらんどスキルアップ研修	単独	2015年11月8日	主催： 三幸学園	東京未来大学 現役の保育士さん120名を対象に「歌遊び」をテーマにして講義と実践を行なった。
その他 (表彰等)				